

青又商店 BCP(事業継続計画) 2025.12

1. 目的

自然災害(地震・台風・豪雨など)、火災、パンデミック、システム障害などの緊急事態発生時でも、従業員・顧客の安全確保と事業の最小限の継続を目的とする。

2. 事業継続優先順位(事業ごと)

優先度	事業	理由
高	ガソリンスタンド営業	顧客への燃料供給は地域生活に不可欠
高	損害保険募集	顧客対応が遅れると損害リスクが増大
中	自動車整備	緊急整備は継続、定期整備は延期可
中	消防設備点検	法令対応があるため、可能な限り継続
低	住宅設備販売	受注対応は可能だが優先度は低い

3. 組織・役割分担

従業員	緊急時役割
店長(1名)	総指揮、緊急連絡網管理、重要顧客対応
保険募集人(3名)	顧客連絡・保険契約処理、電話/オンライン対応
自動車整備士(2名)	緊急整備対応、車両移動支援
消防設備士(2名)	法定点検対応、緊急消防設備トラブル対応
事務・管理(1名)	文書・データ管理、保険・販売記録のバックアップ

4. リスク評価と対応策

リスク	影響	対応策
地震	建物損壊、ガソリン漏洩、顧客負傷	防災訓練実施、消火器・避難経路確保、重要設備固定
台風・豪雨	浸水、停電	高所保管、非常用発電機・照明確保、事前在庫調整

リスク	影響	対応策
火災	建物・車両損害	消火器設置・点検、消防設備士による早期対応
感染症(パンデミック)	従業員不足	マスク・消毒・在宅対応可能業務の整理
IT・通信障害	顧客対応遅延	顧客リスト・契約情報の紙媒体・クラウド二重化

5. 事業継続手順(例:災害発生時)

1. 初動対応

- 従業員の安全確認
- 施設・設備の安全確認
- 緊急連絡網にて全従業員・顧客に通知

2. 優先事業の維持

- ガソリンスタンド:最小スタッフで営業、燃料在庫確認
- 損害保険:オンライン・電話で顧客対応
- 緊急自動車整備:緊急車両・業務用車両を優先

3. 事務・情報管理

- 顧客データのバックアップ・クラウド管理
- 請求・契約書類は紙・デジタル両方で保持

4. 安全確保・復旧

- 建物・設備の点検・修復
 - 消防設備の早期復旧
 - 従業員心理サポート(必要時)
-

6. 緊急連絡網

- ・ 店長 → 全従業員
 - ・ 従業員 → 顧客(重要契約・緊急対応)
 - ・ 緊急連絡先(消防署・警察・保険会社本部)明示
-

7. 訓練・見直し

- 年 1 回:防災訓練(避難・初期消火)
 - 年 1 回:BCP 見直し(役割変更・新リスク反映)
 - 半年ごと:顧客連絡体制・通信手段の確認
-

8. 資材・設備準備

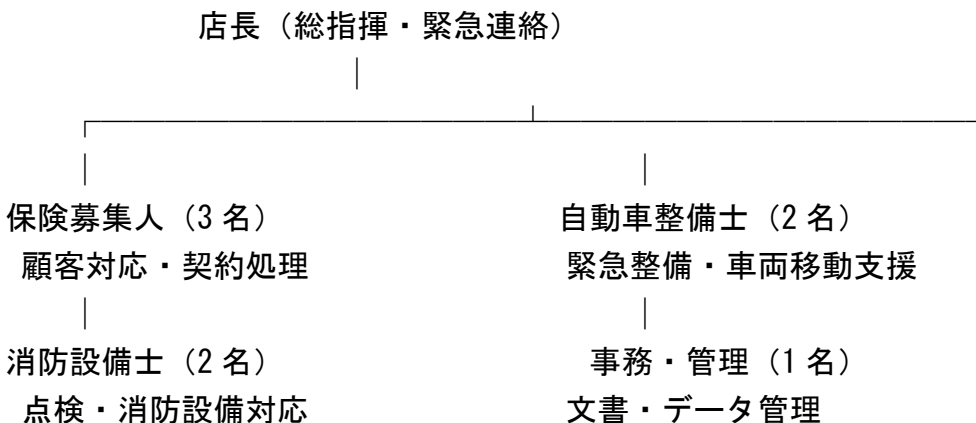
- 非常用発電機・燃料確保
- 消火器・消火ホース点検
- 防災備蓄(飲料水、簡易食料、救急箱)
- 重要書類の紙・クラウド二重保管

青又商店 BCP 簡易マニュアル(従業員 8 名向け)

1. 目的

- 従業員・顧客の安全確保
 - 最低限の事業継続(燃料供給・保険対応・緊急整備)
 - 迅速な復旧・通常営業への回復
-

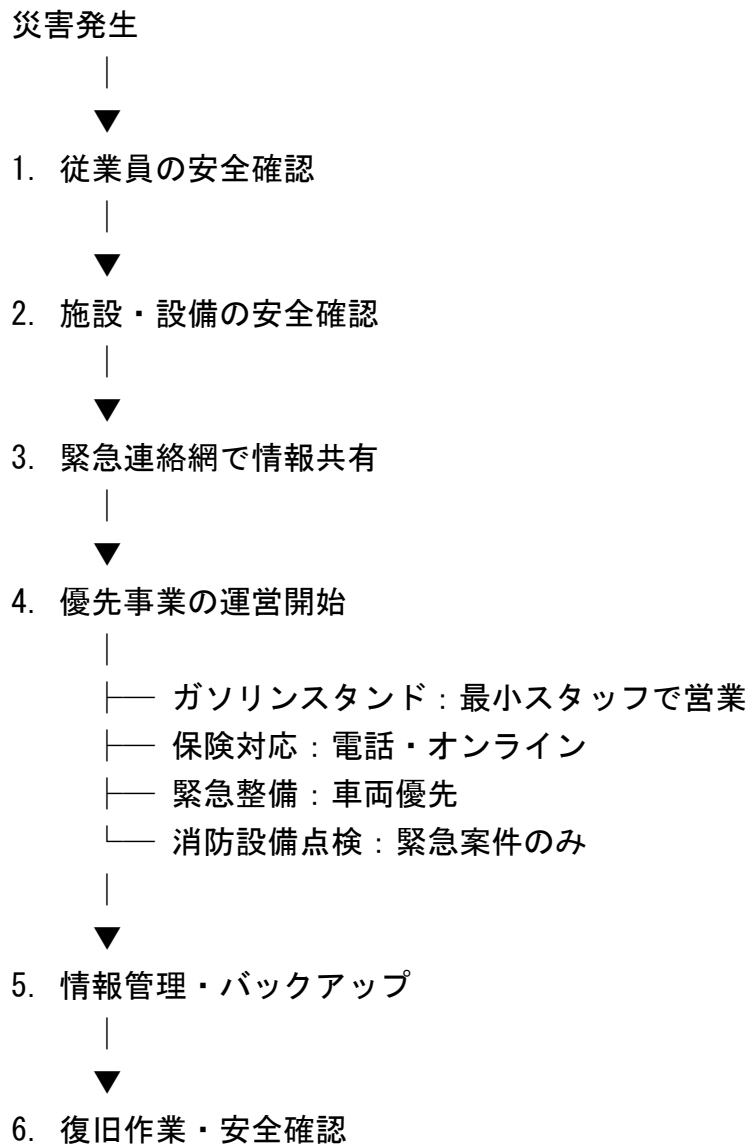
2. 組織・役割図



3. 事業継続優先順位

優先度	事業	対応方針
高	ガソリンスタンド営業	最小スタッフで営業、燃料在庫確保
高	損害保険募集	電話・オンライン対応、重要契約優先
中	自動車整備	緊急整備のみ対応、定期整備は延期
中	消防設備点検	法定点検を優先、可能な範囲で対応
低	住宅設備販売	受注・契約は後回し可

4. 緊急時対応フロー(図解)



5. 緊急連絡網(例)

名前	役割	緊急連絡先
店長	総指揮	携帯/LINE
保険募集人 3 名	顧客対応	電話/メール
自動車整備士 2 名	緊急整備	携帯

名前	役割	緊急連絡先
消防設備士 2 名	消防設備対応	携帯
事務・管理	データ管理	携帯・クラウド

外部連絡先

- ・ 消防署、警察、保険会社本部、燃料供給業者
-

6. 事前準備リスト

- ・ 防災備蓄(飲料水、簡易食料、救急箱)
 - ・ 消火器・ホース点検
 - ・ 非常用発電機・燃料確保
 - ・ 顧客情報・契約書類の紙・クラウド二重保管
 - ・ 避難経路・集合場所の明示
-

7. 訓練・見直し

- ・ 年 1 回:防災訓練(避難・消火)
 - ・ 半年ごと:緊急連絡網・通信手段確認
 - ・ 年 1 回:BCP 全体見直し(役割・リスク更新)
-

8. 注意ポイント

1. 小規模企業は一人ひとりが重要
2. 緊急時は優先順位を守る
3. 情報は紙・デジタル両方で管理
4. 定期訓練で実効性を確認